NEWS RELEASE

2026 年 6 月 10 日
株式会社ミダックホールディングス

国立大学法人佐賀大学とフコキサンチン単離に関する論文発表のお知らせ

株式会社ミダックホールディングス（代表取締役：加藤恵子、所在地：静岡県浜松市、東証プライム市場　証券コード6564）の連結子会社である株式会社ミダック（代表取締役：加藤恵子、所在地：静岡県浜松市、以下「ミダック」）は、国立大学法人佐賀大学（学長：野出孝一、所在地：佐賀県佐賀市、以下「佐賀大学」）との共同研究により、微細藻類から簡単かつ低コストな方法で高品位なフコキサンチンを抽出する方法を確立し、国際学術誌「Molecules」にて論文が公開されました。

学術誌名	Molecules
論文タイトル	A Simple Method for Isolating Fucoxanthin, Which Shows a Wide Range of Physiological Effects, from Microalga, *Chaetoceros calcitrans*
論文著者	Akari Numase ,Rei Ohtsu ,Kiyohiko Suzuki and Yoshinori Kawazoe
論文URL	https://www.mdpi.com/1420-3049/31/10/1707

１.概要

本研究は佐賀大学生物資源教育研究センター・川添嘉徳准教授とミダックの共同研究により実施されたものです。

フコキサンチンは微細藻類が産生するカロテノイド色素に分類される成分で、アンチエイジングや炎症抑制等、様々な効果が期待される物質でありながら、不安定かつ回収コストや技術が極めて高価・複雑になることが知られている物質です。

ミダックは佐賀大学との共同研究により、安定的に培養を行った微細藻類を有機溶媒で処理し、微細なシリカゲル粒子を用いて回収するという簡単かつ安価な方法でフコキサンチンを試薬と同等レベルまで精製・抽出する技術を確立しました。この成果は今後のフコキサンチンをはじめとしたカロテノイド色素研究に携わる研究者の裾野を広げる

とともに、商業化により人類への健康長寿に資することが期待されています。

この高純度フコキサンチンが有する多様な生物への有用性を検討・実証し、政府が掲げる二酸化炭素削減や少子高齢化等の社会が抱える諸問題に積極的に取り組みながら、人々の生活に優しさと豊かさをもたらす高度な研究に真摯に取り組んでまいります。

2. ミダックについて

ミダックグループは産業廃棄物の収集運搬から中間処理、最終処分までの一貫処理体制を強みとしています。当社は持続可能な社会の実現に向け、最終処分場の潜在能力を最大限活用すべく、様々な技術の開発に取り組んでおります。最終処分場を通じて廃棄物処理の脱炭素化に貢献すべく、焼却由来のCO2を最終処分場に貯留する処分場CCS技術の開発も行っています。

＜写真＞



論文掲載の方法で得られた「高品位フコキサンチン」
画像提供：佐賀大学　生物資源教育研究センター　川添嘉徳准教授

3. 佐賀大学について

佐賀大学では、2016年に筑波大学・佐賀市・佐賀大学の三者による「藻類バイオマスの活用に関する開発研究協定」の締結を皮切りに、微細藻類研究が本格的に開始されました。そして現在では、一般社団法人バイオサーキュラーエコノミー協議会との間で「さが藻類産業共同研究講座」を開設し、微細藻類に関する研究開発環境を拡充するとともに、製薬企業や化学・素材系企業、エネルギー系企業等、細胞や微生物を使った技術開発を進めている幅広い企業との協業を進めています。

4. 各組織の概要・問い合わせ先

法人名	株式会社ミダック
所在地	静岡県浜松市中央区有玉南町 2163 番地
代表者	代表取締役社長 加藤 恵子（かとう けいこ）
創業	1952 年 4 月 1 日
事業内容	産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬・処分(中間処理・最終処分)
URL	https://www.midac.jp/
問合せ先	事業部 事業管理グループ 担当：大津 TEL:053-471-9365

法人名	国立大学法人佐賀大学
所在地	佐賀県佐賀市本庄町 1 番地
代表者	学長 野出 孝一（ので こういち）
設立	1949 年 5 月 31 日
URL	https://www.saga-u.ac.jp

佐賀大学
SAGA UNIVERSITY

以上